

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 年度抽出分

No.64

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
21	堀川南小学校	富山市堀川本郷町1区地内	歩道のすぐ脇に深い用水があり危険	防護柵の設置	富山市

○対策の具体

対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

車道に面した場所については防護柵が設置されたため、車両が用水に転落する危険性は低くなった。

防護柵がない場所がかなり残っており、歩行者が転落する危険性は大きい。
歩道(白線等)がない。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

安全な歩き方の指導を継続する。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成28・29年度抽出分

No.67

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
21	堀川南小学校	富山市本郷町3区地内	道路幅員が極めて狭く、自動車と歩行者が輻輳している。	歩道の整備	富山県

○対策の具体

対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

歩道が拡張され、縁石が整備された場所においては、歩行者の安全について以前より改善が認められる。

縁石が整備されず歩道の幅が狭い部分については、歩道内に電信柱が設置されていて歩行の障害になっていたり、積雪時に除雪された雪が積まれていたりして、歩行の妨げとなっている。さらなる整備を望む。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

安全な歩き方の指導を継続する。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成(28) 29 年度抽出分

No. 87

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
35	呉羽小学校	市道追分茶屋呉羽本町線	歩行者と車の距離が近く、子供が車を避けようとして、溝に落ちそうになる。	側溝蓋かけ	富山市

○対策の具体

対策前



対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

- ・側溝に蓋ができたため、より道路の端を歩くことができ、車との距離をとることができる。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

- ・一列で、道路の端を、通過する車に気を付けながら歩くように指導する。
- ・歩道明示の白線があると、歩行者・運転者双方への意識付けになると思われる。
- ・本道路の反対側にも溝(今回蓋をされた側溝より狭く浅い)にも蓋があると、さらに道幅に余裕が出ると思われる。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成(28)・29年度抽出分

No.102

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
38	老田小学校	富山市東老田地内	狭い車道で交通量が多い。用水があって危険。	路肩拡幅(用水蓋掛)	富山県

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

児童の登校や下校の際に、安全に通れる歩道が確保された。また、冬季積雪時にも歩道が明確に分かるように安全ポールが設置されたことで年間を通じて安全が確保されることになった。保護者や地域の見守り隊からも児童の安全が確保されたと大変好評である。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

この道路の東側は道が狭くなっており、現在20名程度の児童が車道と民家塀の間を注意しながら通学している。歩道の確保が望まれる。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成28・29年度抽出分

No.108

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
42	富山市立水橋西部小学校	富山市水橋辻ヶ堂601-2付近	用水の周りに柵が無いため危険。積雪時には、道路と用水の境界が見えにくい。	用水側にガードレールを設置	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

- ・しっかりとしたガードレールが付き、転落の危険がなくなった。
- ・現在、登下校でこの道を通る子どもは少ないが、下校後に遊びに行く際に頻繁に通る道であり、ガードレールがついたことで、安心して通行できる。
- ・過去に、この用水に転落して、怪我をした子どもがいるので、安全性が増してよかった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

- ・安全性が増したことに慢心して、自転車でスピードを出して走り、ガードレールに衝突すると、かえって危険なことになる。子ども達には、そうしたことを含めて安全指導をしたい。
- ・校区内には、柵のない用水が、まだ多数ある。そうした用水についても、順次柵を設けるなどの安全対策をお願いしたい。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成28・29年度抽出分

No.135

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
48	船峠小学校	富山市二松158付近の用水	ガードレールが壊れていて(切れている)用水の角が空いている	転落防止柵が設置されている	富山市

○対策の具体

対策前



対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから
 ◎用水に近付くことがなくなり、安心して登下校できている。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.4

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
4	柳町小学校	富山市稲荷町1丁目地内	歩道橋全体に風除けのためのパネルが張られており、見通しが悪く、自転車等の接触を起こしやすい。	パネルの上半分の撤去、又は透明のパネルに張替え	富山県

○対策の具体

対策前



対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

以前は、パネルによって子供の姿が見えず、歩道橋近くを通る自転車に接触する危険性があったが、現在は、パネルが撤去され、登下校の子供の様子がよく分かるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

雨や雪の日は、歩道橋が滑りやすい。また、登校時は、歩道橋を下りた後、右折するため、急いで横切ると自転車と接触する可能性もある。安全に気を付けて登下校するように、指導を継続していきたい。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.5

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
4	柳町小学校	富山市柳町2丁目3地内 富山市泉町1丁目3地内	歩道橋全体に風除けのためのパネルが張られており、見通しが悪く、自転車等の接触を起こしやすい。	階段部パネル上部撤去及び注意喚起看板設置	国土交通省

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

朝は特に自転車の往来が多く、歩道橋を下りた後に、自転車と接触する危険性があったが、現在は、パネルが撤去されたことにより、見通しがよくなった。また、注意喚起看板の設置により、事故防止につながっている。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

歩道橋を下りた後、急いで歩道を横切る子供がいるので、安全を確認しながら歩くことを繰り返し指導していく。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 (29) 年度抽出分

No.8

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
4	柳町小学校	弥生町2丁目地内	蓋のない側溝が多い	側溝の蓋掛け	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

道幅が広くなり車がスムーズに対面通行ができるようになった。また、側溝に児童が転落する心配もなくなった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)


「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 (29) 年度抽出分

No.9

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
5	桜谷小学校	桜谷みどり町	白線が消えていて危険	区画線の引き直し	富山市

○対策の具体

対策前	対策後
センターラインの 引き直し	

○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

センターラインが引かれ、車が左側通行を守って走行するようになったため、車の走行がスムーズになり、歩行者も安全に通行できるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

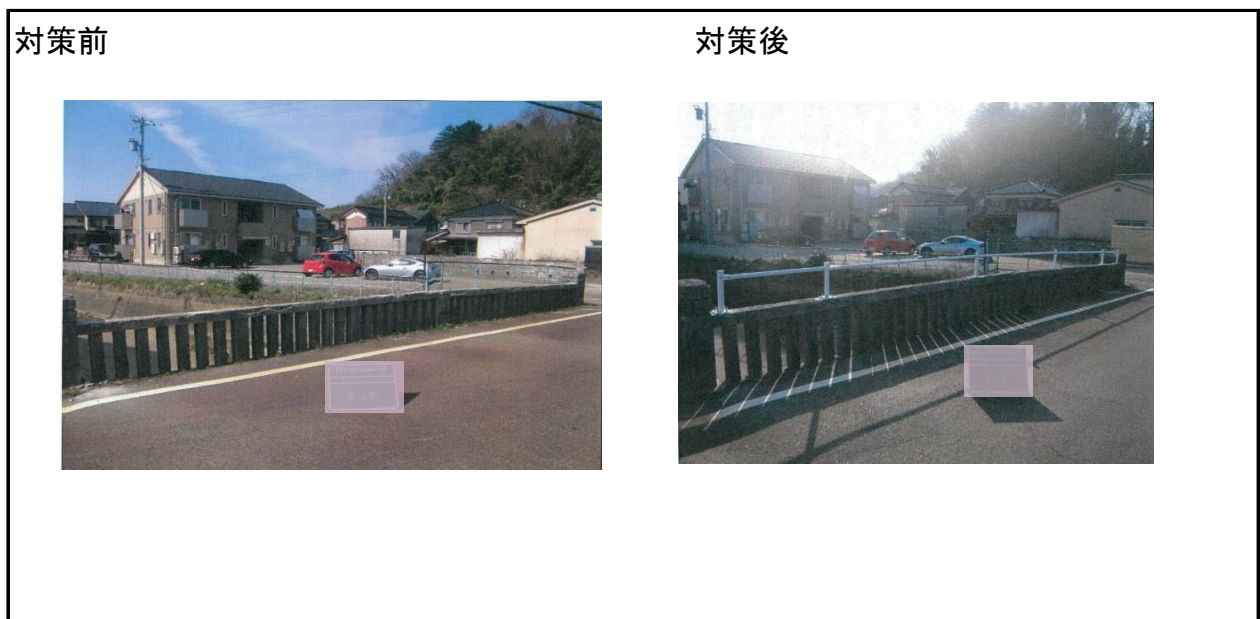
「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 (29) 年度抽出分

No.13

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
5	桜谷小学校	安養坊地内	用水の柵の高さが低く、腐食している	転落防止柵の修繕	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

危険であるということの注意喚起になっている

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

フシヨク
腐食しているガードレールの対策もお願いしたい

タイサク

ネガ

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.14

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
5	桜谷小学校	田川屋292-4 付近	途中から歩道の白線が両 側とも無くなる	区画線の設置	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

歩道ができたため、児童も歩きやすく、安全に登下校ができるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 (29) 年度抽出分

No.16

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
8	奥田北小学校	下新北町3区地内	十字路交差点を西側から見たとき、家屋・塀により東側・西側の見通しが悪い	カーブミラーの設置	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

車の運転手から道路の見通しがよくなったため、より安全に児童が登下校できるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 年(29) 年度抽出分

No.18

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
9	東部小学校	富山市元町二丁目地内	市道から(主)富山立山公園線に出る際に、塀により東側歩道の見通しが悪い。	カーブミラーの設置	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

道が、県道立山公園線に対して、鋭角に交差している上に、塀があり、右方向から来る車が直前まで全く見えない状況で、登校時に出会い頭にぶつかる可能性があり、さらに車同士が接触事故を起こす可能性もあった。しかし、カーブミラー設置後は、右方向から来る車ははっきり見えるので、安心して県道側に出ることができるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

今後、通学路の中で、狭い道から広い道路へ出る際に、見通しが悪い箇所をさらに洗い出し、カーブミラーの設置を要望していきたい。また昨年、地震の揺れのため、倒壊した塀の下敷きになり、児童が死亡する痛ましい事件を受け、対策として、両側に塀が立ち並ぶ狭い通学路を一部変更した。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.24

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
22	光陽小学校	根塚町二丁目	市道から(主)富山笹津線に出る際、柵により北側の見通しが悪い。	カーブミラーの設置	富山市

○対策の具体

対策前



対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

カーブミラーを設置することにより、北側歩道の歩行者の状況が確認しやすくなったため、交通事故防止に効果があると思われる。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

児童も交通社会の一員であるとの自覚を高め、交通ルールを遵守するとともに、交通事故につながる通行の仕方を工夫する態度を養っていきたい。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.25

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
23	山室小学校	市道中市不二越線 富山市秋吉新町地内	道幅が狭く、縁石がわずかで歩道と車道の境目がなくなるところがある。	区画線の設置	富山市

○対策の具体

対策前



対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

車道と歩道の境目をはっきりし、児童が安全に登下校できるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

歩道を一列になって登下校するように、指導を継続する。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.26

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
23	山室小学校	市道中市不二越線 (山室橋) 富山市秋吉新町地内	橋の袂に柵がない。橋の柵が低い。	転落防止柵の修繕	富山市

○対策の具体

対策前



対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

柵が修繕、設置されたことで、児童の転落の危険性が低くなった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

橋の上から覗き込むような行為をしないなど、今後も児童に転落防止を指導する。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No. 29

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
25	蜷川小学校	市道小杉32号線	T字路交差点を南側から見たとき、家屋により東側の見通しが悪い。	カーブミラーの設置	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

カーブミラーが数カ所にあることで、左右の安全がしやすくなった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

市道小杉32号線は、大変交通量の多い道路である。特に朝夕の通勤時間帯には、スピードを落とさず走り抜ける車が多い。今後も保護者や地域の方の協力を得ながら、子供たちが安全に登下校できるよう努めていきたい。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 (29) 年度抽出分

No.34

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
29	月岡小学校	月見町二丁目地内	十字路交差点を北東側から見たとき、家屋により南東側の見通しが悪い。	カーブミラーの設置	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

車の運転手から路地が見やすくなったことで、より安全に児童が登下校できるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

児童には、安全な登下校の仕方について継続的に指導する。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 (29) 年度抽出分

No.41

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
39	古沢小学校	古沢地内	十字路交差点を北西側から見たとき、家屋により北東側・南東側の見通しが悪い。	カーブミラーの設置	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

カーブミラーが設置されたことで、運転手の安全確認が早めに行えるようになった。そのため、安全に児童が登下校できるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.47

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
46	大沢野小学校	富山市高内地内	歩道橋階段が凸凹して いて歩きにくい	歩道橋補修	国土交通省

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

- ・ でこぼこにつまずくことなく、上り下りができる。
- ・ 凍結時も安全に歩道橋を渡ることができる。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 年 (29) 年度抽出分

No.56

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
46	大沢野小学校	富山市上大久保	道路の側溝が開渠であるため、転落の危険性がある	側溝蓋掛け	富山市

○対策の具体

対策前

- ・ 側溝が広く、転落の危険がある

対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

- ・ 狭い道路だったが、側溝を閉じたため、車が来た際も安全に、よけることができる。
- ・ 広い側溝だったが、転落の危険性もなくなった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 年 (29) 年度抽出分

No.65

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
53	八尾小学校	富山市八尾町 福島第一地内	用水があり、落ちたら危ない	側溝蓋掛け	富山県

○対策の具体

対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

安全に歩行することができている。
また、JR越中八尾駅付近の道であることから、通学や通勤で駅を利用する多くの人にとっても、安全に安心して通ることができるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)



「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 (29) 年度抽出分

No.68

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
56	檜尾小	一般県道掛畑井田新線(八尾町小長谷地内)	歩道が異常に狭い	歩道の拡幅・整備	富山県

○対策の具体

対策前	対策後
<p>歩道の幅がとても狭く危険である。</p> 	<p>歩道の拡張工事により幅が広がり舗装もされ、安全に快適に歩行できる状況である。</p> 

○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

- ・ 歩道がとても広く、安全に歩行できる。地域の方も大変喜んでおられる。冬期の積雪時にも、小型除雪車が楽に入るため、登校に支障をきたすことはなかった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

- ・ 学校職員や安全パトロール隊による見守りの継続

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 (29) 年度抽出分

No.76

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
58	鶉坂小学校	婦中町西本郷	道路東側に水路があり、転落の危険性がある	転落防止柵の設置	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

防護柵ができて、保護者、地域住民の安心感が増した。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.78

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
61	古里小学校	富山市婦中町新町 1668付近	路側帯の白線が消えかけていて危険	区間線の引き直し	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから
路側帯の白線が明確になったため、児童が安全に歩行できるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)
特になし。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.79

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
61	古里小学校	富山市婦中町 小長沢221付近	路側帯の白線が消えかけていて危険	区間線の引き直し	富山市

○対策の具体

対策前



対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから
路側帯の白線が明確になったため、児童が安全に歩行できるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)
特になし。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 年 29 年度抽出分

No.80

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
61	古里小学校	富山市婦中町長沢 3060付近	路側帯の白線が消えかけていて危険	区間線の引き直し	富山市

○対策の具体

対策前



対策後



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから
路側帯の白線が明確になったため、児童が安全に歩行できるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)
特になし。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No.81

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
61	古里小学校	富山市婦中町下 邑 154付近	路側帯の白線が消えかけていて危険	区間線の引き直し	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから
路側帯の白線が明確になったため、児童が安全に歩行できるようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)
特になし。

「富山市通学路交通安全プログラム」PDCAシート

平成 28 ・ 29 年度抽出分

No. 83

No	学校名	箇所名	通学路の状況・危険の内容	主な対策内容	事業主体
64	山田小学校	山田湯880 中央橋付近	停止線、路側帯の白線が薄くなっている。	停止線、路側帯の白線の引き直し。	富山市

○対策の具体



○対策の効果等(当該学校において記入)

◇児童生徒の登下校の様子や保護者、地域の声などから

・停止線や路側帯の白線が明確になったことで、児童は、歩行者が歩くところと車両が通行するところを意識し、安全に気をつけて歩行するようになった。

◇その他(今後の指導の充実やさらなる改善点など)

・校区は他地区と比べ車両の往来は多くないが、行楽で訪れる車両や工事車両等は、スピードが出ていることがある。油断をせずしっかりと安全確認をすることや飛び出しをしないことなどを継続して指導していく。
 ・当箇所は、今後も低学年児童が道路を横断するので、横断歩道の設置が望まれる。
 ・校区内の通学路にある他の車両用の停止線や歩行者用の横断歩道は依然として白線が薄くなっている箇所がある。